

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 2025年度版
(こども園・保育所等・小規模保育) 5 東野 3月23日版

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所 在 地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和7年11月1日～令和8年3月13日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	浦安市立東野保育園 ウラヤスシリツヒガシノホイクエン		
所 在 地	〒279-0042 浦安市東野1-7-2		
交通手段	東西線浦安駅下車 東京ベイシティバス5番東野保育園下車 4, 8, 12番市役所前下車 京葉線新浦安駅下車 東京ベイシティバス5東野保育園下車 おさんぽバス舞浜線総合福祉センター下車		
電 話	047-350-4321	FAX	047-350-4322
ホームページ	浦安市公式ホームページ		
経 営 法 人	浦安市		
開設年月日	平成元年4月1日		
併設しているサービス	一時預かり保育 保育ママ連携園		

(2) サービス内容

対象地域	浦安市域						
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	14	30	32	32	32	32	173
敷地面積	2000.18㎡			保育面積		915.96㎡	
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援
健康管理	年2回内科・歯科健診、3歳以上尿検査、月1回身体測定、日2回健康観察						
食事	完全給食、離乳食、アレルギー除去食						
利用時間	7:00から19:00						
休 日	日曜日、祝日、年末年始						
地域との交流	保育園、幼稚園、小学校、中学校、園庭開放、子育てサロンなど						
保護者会活動	父母会なし						

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		37	29	66
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	44		1	
	保健師	調理員	その他専門職員	
		1	0	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	<ul style="list-style-type: none"> 入園申請は浦安市役所保育幼稚園課へ直接申請 (一時預かり保育は東野保育園) 		
申請窓口開設時間	8：30から17：00		
申請時注意事項	特別な場合を除き、書類が揃わない場合は支給認定の対象外になるため、申請事務を進めることができません。		
サービス決定までの時間	原則30日以内		
入所相談	園見学・電話相談で案内している		
利用代金	支給認定と市区町村税をもとに算出(3～5歳児は無償)		
食事代金	0～2歳児は保育料に含む、3～5歳児は保護者負担		
苦情対応	窓口設置	(苦情受付担当者) 東野保育園長	
	第三者委員の設置	浦安市役所 保育幼稚園課長	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針（理念・基本方針）</p>	<p>「理念」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健やかな成長を目指す ・安心して生き生きと子育てができる支援を目指す ・子どもと家庭を見守り、支えあえる保育園を目指す <p>「基本方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛着関係や信頼関係を築き、子どもが主体的に活動できるよう保育をしていきます。 ・地域の子育て家庭と信頼関係を築きながら、開かれた保育園づくりをしていきます ・保護者と共に協力しあいながら、子育てに喜びを感じられるようにしていきます
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の中心部に位置し平成元年に浦安市5番目の公立保育園として開園しました。 ・若い世代の核家族家庭が多い地域で、保育の需要が高く、常に定員がうまっています。地域子育て支援として園庭開放や体験保育を行ったり、保育士が子育てサロンに出向いたりしています。 ・近隣にある小学校・総合福祉センター・Uセンター（老人福祉センター）と地域交流が盛んに行われています。 ・園内に併設している一時預かり保育は、多くの子育て家庭が利用しています。
<p>利用（希望）者へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分の気持ちを素直に表現できるように、職員みんながすべての子に愛情をもって接しています。 ・安心できる保育士との関わりの中で、子ども達の「やってみたい」「やってみよう」という主体的な気持ちを大切に育てています。また子どもをまんなかに、保護者の方と信頼関係を築きながら、保育園が安心して預けられる場となるように努めています。 ・保護者の方や地域の子育て中の方が、子育てに喜びを感じられるように一緒に子ども達の成長を援助しています。 ・様々な経験や遊びを通して子どもが気づき、発見し、自信をもって行動できるように関わっています。

特に力を入れて取り組んでいること

1. 保育の質を確保するための制度整備～特に人事評価制度の充実～

市は保育を量から質の確保へと方針を立て基準づくりをすると共に、多様化する保護者の就労形態に合わせた保育の提供も打ち出している。その実現のために数々のマニュアルやチェックシート類もできている。中でも保育施設と職員の自己評価制度は充実している。鍵となる職員自己評価については、能力評価と業務評価の二つを評価するほかに、「目標管理」を導入している。職員個々の努力を促すと共に働きがいにつなげていこうとする公平で透明性のある評価制度の仕組みがある。園では、保育職員の自己評価をもとに園長が一人ひとりを面接し、保育の質の確保に努めている。

2. 保育環境を整え協働的な取り組みで主体的な保育を実践

広い園庭と遊戯室など恵まれた環境が整っている。保育者の笑顔や信頼関係に支えられ、こども達は多様な遊具や玩具の中から自ら選んで遊べるように設定され、主体的な保育が実践されている。4・5歳児では「こども会議」を設けて、誕生日会のゲームをこども達が話し合って決定、表現発表会の劇づくりでは、やってみたい劇や保護者も交えて台詞を考えるなど、こども達の思いや発想を大切に、家庭と連携した参加型の取り組みをしている。職員は会議で主体的に遊べる環境についてP D C Aサイクルで取り組み話し合う等、こども・保護者・職員が共に関わり、主体的な保育を実践していることは基本方針に沿っている。

3. 年齢に応じた食への関心を深める食育の実践

当園は、自園調理で安全な食材と素材の味を大切にされた給食を提供している。1・2歳児は月齢差による発達を考慮して食事時間を調整して個別対応で丁寧に向き合っている。園庭で季節の野菜や果物を栽培し観察したり、野菜洗いや皮むき等、日常的に体験している。さらに時節行事食・クッキング・ぶりの解体ショーなどを通して、こども達は五感で旬の食材に親しんでいる。5歳児に栄養士は食品三色彩について伝え、こども達の質問を受けるなどして食への関心を育てている。保護者に食に関するアンケートや人気レシピの配付・家庭の食環境に配慮した情報提供等々様々な食育活動を実践している。

4. 親しみやすい情報の発信で多様な地域支援を実現

園庭・ホール開放、電話相談、体験保育、一時預かり保育など多様な地域支援を実施している。事前予約なしで0～5歳児に冬場でも暖かいホールを開放し、トンネルやトランポリン・赤ちゃん用のソフトブロックなどで遊べる環境を整えている。これらの広報は「MY浦安」のホームページを活用しているが、行事等の日時案内にとどまらず、職員のアイディアで遊具や園の様子・保育内容・手作り玩具の作り方などを写真付きで発信している。結果、利用者増につながり地域に開かれた保育園づくりとなっている。職員の工夫は実践的で親しみやすい支援として高く評価できる。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 保護者要望へのタイムリーな対応

保護者アンケートによれば、①連絡アプリによる情報発信にこどもの様子の共有や保護者の意見・要望の伝達などにも活用希望②建物・設備の老朽化への懸念③保育室に漂うトイレ排泄時の臭気対策④1・2歳児のおむつ替えスペースの環境改善を求める声があった。市には既に修繕工事の予定があり、改善が見込まれる指摘も中にはあると思われる。可能な限りタイムリーな情報開示と説明とで解決しそうな事項もあり、対応が望まれる。

2. 文書（マニュアル）類の見直しに関する担当と見直し期日の明確化

市や保育園が保護者に配付している文書類は、市保育幼稚園課によるもの、公立7園の園長会によるもの、各保育園によるもの等々多々ある。作成や見直しと修正などは、いつ行われたか、携わった担当部署がどこなのかが明確でないと文書類の信頼性が薄れる怖れがある。責任の所在もあいまいになりがちである。「入園のしおり」と「保育園概要」の感染症関連記述には「治癒証明（書）」という文言が使われていた。国の感染症対策ガイドラインでは平成24（2012）年11月の改訂で、「治癒証明書」は感染症の種類によって「（医師の）意見書」と「（保護者の）登園届」とに表現が変更されている。“気がつきながら修正されないままになる”ようなことを防ぐためにも、文書類には作成・見直しの担当部署と期日の明確化を注意深く進められたい。

（評価を受けて、受審事業者の取組）

- ・保護者アンケートの回答率が少なかったことは残念である。次回は保護者意見にもあるようにWEB（ネット）入力を取り入れて、回答率を上げていきたい。
- ・評価の低かった項目の「保護者の意見や要望を聞く機会」「苦情窓口」は、毎年公立7保育園で行っている保護者アンケートでも評価の低い項目になっている。保護者とは懇談会、個人面談を実施し、さまざまな掲示も行っているが、まだまだ足りないことがよく分かった。回答の中に「職員が忙しそうで声がかげずらい」という意見も見られたので、保護者が職員に声を掛けやすい雰囲気を作るとともに、職員からもっと積極的に保護者へ声をかけていくことをより丁寧に行っていききたい。園長が、朝、玄関に立ち挨拶をすることを今後も継続しながら、夕方の時間帯にも玄関に立ち、保護者に声をかけていくことも検討したい。保護者の意見をどのように聞いていくか、どのように保護者に伝えていくか、次年度以降、園全体で考えていく。
- ・オムツ交換の場所やトイレの臭い防止策は、各クラスですぐに改善を行う。園舎の老朽化については、次年度の春の学年懇談会時に、園長から今後の大規模修繕の時期も含め説明を行い、保護者理解に努める。また、その中でできることは担当課と連絡を取り合い修理を実施し、その経過を保護者にも共有できるようにしていく。
- ・保護者からの一つ一つの意見を真摯に受けとめつつ、多くの保護者の方から頂いた「職員の笑顔」「子どもが喜んで登園している」などのご意見に感謝するとともに、今後も継続できるように努めていきたい。
- ・評価機関の評価員が、一つ一つの項目のできていることを見つけ、認めてくれる評価が多く、評価される側としてはとても有難かった。今後もできていることを維持しながら、ブラッシュアップを重ね取り組んでいきたい。どうも有難うございました。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果 5 東野

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目				
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当		
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4				
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3				
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	6	1		
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4			
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3			
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7			
				7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5			
				8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4			
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5			
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3				
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4				
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4				
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4			
				14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3			
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	15 提供する教育及び保育の標準化	4			
				16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2			
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4			
				18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4			
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5			
				項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
					21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
					22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5							
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4							
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6							
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6							
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4							
5 安全管理	環境と衛生	28 家庭との連携が十分図られている。	3					
		29 地域社会との連携が十分図られている。	3					
		30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3					
		31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3					
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4					
6 地域	地域子育て支援	33 食育の推進に努めている。	5					
		34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3					
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4					
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6					
		37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5					
計				158	1	0		
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当		

項目別評価コメント（こども園 保育園 小規模保育） 3月23日版

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 非該当

評価項目		標準項目	
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント)			
理念は公立園共通で浦安市の公式ホームページと「入園のしおり」に掲載され、また、「保育園概要」にも基本方針と共に記載されている。当園では理念等を玄関に掲示し、更に園目標は各保育室にも掲示して職員の共有化を図っている。理念・方針は「全体的な計画」にも記載していて、保育者が常時触れる機会があるが、同計画を見直すにあたって、職員会議で検討している。			
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント)			
理念と基本方針は、保護者へ入園時に「入園のしおり」で説明している。在園児については懇談会で資料として「全体的な計画」「年間計画」を配付しているほか、園だより、クラス便りを通して保護者へ伝え周知している。			
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	運営の透明性の確保に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
		<input type="checkbox"/>	方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的の説明し、全職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
(評価コメント)			
浦安市は、「子ども・子育て支援総合計画」(5カ年計画)や「就学前保育・教育指針」を策定し、保育事業全般的な計画や具体的な目標・重要課題などが網羅されている。こうした計画に直接保育園職員が策定に加わることは少ないが、「保育・教育指針」については数多くの保育園長や保育者等が委員構成員となって参画し策定されている。公立保育園ならではの確固とした法体系の中での運営されている。しかし、保育園に直接的な計画ではないためか、保育事業の根幹となる上位計画について幹部職員から全職員に周知されていることは確認できなかった。			
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント)			
職員は「目標管理シート」によって5月に目標設定をし、その後に成果を記す。園長は年2回面接を行い必要な指導・助言を行うほか、職員の要望や人間関係等についても聞き取りを行っている。市が「研修計画」を構築し研修体系が確立されていて、研修後は職員が報告し発表している。園内研修は年6回以上行って保育の質の向上を図っている。不安や悩みをもつ職員には、保育カウンセラーによるカウンセリングを活用して、その解決にあたるようにしている。			
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント)			
職員は公務員であり法令遵守は当然のことではあるが、市は「コンプライアンス行動指針」を令和3年に策定し全職員に法令遵守と高い倫理観をもつことをあらためて求めている。園では全国保育士会の「倫理綱領」を年度初めに読み合わせて意識の向上を図っている。職員の個人ファイルには個人情報保護マニュアルが綴られて、日常的に確認できるようになっている。プライバシー保護についても「入園のしおり」に記載され、保育者にも周知されている。			
6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント)			
保育アプリの導入によって写真撮影と販売、一時預かりの手続きほか、庶務事務や人事評価についてと業務の効率化が進められている。就業問題については年2回の面接などの機会を利用して把握、中堅職員による園内運営会議で話し合ったり、園でできる範囲を超えたものは保育幼稚園課へ相談する。園には「レクリエーション係」があり、歓送迎会やお疲れ様会など親睦会を開きコミュニケーションを図っている。休暇は職員が平等に取得できるよう日数管理をしている。			

評価項目		標準項目	
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に 行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行 われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 市人事課が一般的な人事労務について担っている。職務権限については規程で定められていて、業務は保育園職員業務分担表を規則で規定して明確である。評価制度は実施要綱を定め、「人事評価マニュアル」によって公平な評価ができるように基準等が整備されている。評価は能力と業務とに別れている。業務評価については目標管理が導入され、園では職員の自己評価について期末に評価結果を面接で示して指導・助言を行うなど透明性も確保されている。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的 な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 組織的な人材確保や定着については市の総務部門が所管し、必要に応じた職員の採用や異動が行われている。人材育成に関した研修については、市が「保育園職員研修計画」を策定し、職種や階層別に「ねらい」を明確にした研修体系に基づいて研修を実施している。園では目標管理を活用した人材育成のほか、特に初任者については、基本的な知識・技術面で実務的な力をつけられるプログラムが用意されていて、園長・副園長や主任が受け持っている。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、 研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 市が策定した「保育園職員研修計画」では、職種や階層別に「ねらい」を明確にした研修体系が整備されていて、初任保育士から中堅・主任を経て副園長や園長という管理職に至るまでの研修を構成し実施している。個別には目標管理を導入して人材育成に取り組んでいる。園内研修も行われているほか、千葉県保育協議会東葛支会等による外部研修にも計画的に参加している。OJTの担当も明確化されている。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行 い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重 している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 人権について(虐待等・不適切な関わりを含む)職員が講師となって研修を実施したほか、県保育協議会東葛支会でも「人権を尊重した保育」が計画され職員が参加するなどして、子どもの意思を尊重する保育への理解を深めた。運動会や発表会については4・5歳児の「子ども会議」を事前に開いたり、食事の進まない子どもについては無理強いせずに「食事は楽しい」を基本に対応するなど、子どもの意思を尊重して保育にあたっている。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を 図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 市が「個人情報保護制度」についてホームページで取り扱いのルール等について明示している。本人の情報についての開示や訂正についても触れ、開示請求の手続きについても掲載されている。「入園のしおり」と「重要事項説明書」には、個人情報の利用目的などについての記載があり、入園時に保護者へ説明しているが、保護者が手にするこれらの書類には「提供される保育に関する記録の開示」については何ら触れていない。園のこれらの説明資料にも明示され、また職員にも周知されることが望ましい。個人情報保護マニュアルは職員が個人ファイルで保管し、常に確認できるようにして周知を図っている。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備 し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 市保育幼稚園課が保護者にアンケートを実施している。その結果を掲示して公表し、必要に応じて対応している。行事や保育参観等の後にはアンケートを行って改善すべき点は検討し対応する仕組みがある。保護者面談の機会を利用して相談や要望等を聞き取るようにして記録に残している。園長は登園時に入口に立つようにして、保護者とのコミュニケーションを図るよう努めている。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 苦情対応窓口及び担当者を重要事項説明書に記載しているほか、明記し事務所に掲示し周知を図っている。苦情対応マニュアルを整備し、苦情があった場合には、必要に応じて職員に知らせ改善するようにしている。「ご意見箱」も設置している。			

評価項目		標準項目	
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
市は令和3年に「保育の質ガイドライン」を策定、保育を量から質への転換に舵をきり、保育の質の確保に向けて施設における自己評価と職員の自己評価の必要を打ち出している。園では、全体的な計画をはじめ年間指導計画・月案・週案と計画性のある保育を実施すると共に都度振り返りを行っている。保育日誌でも日々の保育を振り返り評価反省を行うことで保育の質の向上に努め、PDCAサイクルは機能している。第三者評価については実施後に公表されることになっている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
業務に関する各種マニュアル(個人情報保護・虐待防止・緊急対応・誤嚥誤食・防災等々)が整備されているほか、シフト勤務の「早番・遅番の仕事」といった日常の基本マニュアルもある。マニュアル類は、各担当者が中心となって年度始めに見直し話し合いや全体での読み合わせを行っている。公立7園で作成している共通マニュアルについては、園長・副園長会議などで定期的に見直しを行って活用している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
見学は、週1回で曜日を決めて午前中に見学にきてもらう。基本は少人数での受け入れだが、見学希望者が多い時期には、見学日を増やすなど柔軟に対応している。見学のときには、副園長がリーフレットを用いて施設・保育内容のほか、体調不良時の預かりや父母会ついで質問など保護者のニーズに応じた丁寧な説明をしている。電話対応では、YouTubeの園紹介動画配信サービス(MY浦安子育て動画)を案内している。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園時に入園のしおりと重要事項の説明を行い、同意書に署名をしてもらう。アレルギー児は栄養士が面談し情報共有し記録している。理念や保育方針・保育目標、及び保育内容は入園のしおりに記載されている。さらに年度初めの懇談会では、年齢にあった保育内容についてより詳しく説明するなど工夫している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協働体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は、保育所保育指針に基づき園の保育理念・目標を踏まえて、こどもの育ちを長期的・総合的に見通した計画となっている。園長・副園長・主任保育士が中心となって、職員会議を通して全職員が参画し協力した体制の下に作成されている。年度始めに保育理念・方針・目標などの読み合わせをして、全職員で共通理解を図っている。全体的な計画では、見直しされているが作成及び改定年月日が記載されていると明確なので記載が必要と思われる。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づき、年間指導計画・月案・週案・保育日誌を作成し、こどもの様子・ねらい・家庭と職員との連携・評価反省を記入し、振り返り改善を行っている。3歳未満児は月ごとに個別計画、配慮が必要な子どもについては期ごとに個別計画を作成している。指導計画は、園長・副園長・主任が内容を確認している。行事の際は行事計画表を作成し、ねらい・準備事項・活動の流れ・配慮事項等を記入している。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容及び方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
大型遊具が設置された園庭は広く、ホールはのびのびと遊べる環境である。遊具や三輪車、フープやボールなどで自由に遊べる。保育室にも年齢に合わせた玩具をこどもの手の届く高さの棚に設置し、コーナー遊びや絵本、4・5歳児は制作ワゴンを用意しこどもが自由に廃品や用具などを使える様に配慮している。「主体的に遊べる環境」について、職員会議でワークショップを実施し、PDCA(計画・実践・振り返り・改善)サイクルの実践に取り組んでいる。			

評価項目		標準項目	
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
家庭と連携を図り、授乳時間・離乳食の進め方などは、個別対応に配慮している。担当制の保育導入で、愛着関係を築き安心して過ごせるようにしている。室内はハイハイなど全身運動や探索活動ができるように安全に配慮し、畳・ソフトクッションやラバーを設置している。発達に応じた素材や玩具を準備し好奇心や欲求を満たし、泣く・笑う・身振り・喃語で思いを表し受け止めてもらえた時の喜びややり取りの楽しさを感じられるようにしている。0歳児マニュアル・発達記録・個別の月案を作成し職員間で共有している。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
基本的な生活習慣の確立のため、食事・着替えやトイレトレーニングなど、自分でやってみようという気持ちを大切に保護者と連携しながら進めている。今年度は、1歳児クラスが0歳児から同じメンバーで生活しているため、ねらいを立てやすく、こどもの成長を継続的に把握しやすい。更に、月齢差保育を導入し、月齢差によるこどもの発達の違いに配慮し、一人ひとりの育ちに応じた保育を行っている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
3歳以上児は、基本的な生活習慣の自立や達成感を味わえるように、一日の保育活動の流れを写真などで掲示して可視化することで生活の流れや時間を意識し、見通しを持って行動している。こどもの意見を尊重するために、行事について「こども会議」を開催し、友達と考えを出し合いながら活動できるように援助している。5歳児は、誕生日会のプログラムや表現発表会で、やりたい劇や台詞を自分たちで決める等主体性を高めるようにしている。			
24	身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
園庭の、柿の木や草花などで自然を感じられる環境にある。亀を飼育するなど日常的に動植物に触れている。散歩のほか、地域の公園・郷土資料館・児童センターにでかけて地域の人々と接したり、バスを利用して水族館や海浜公園の遠足などで社会体験が得られる機会をつくっている。今年の干支馬を題材にした書初めなどの装飾が廊下の壁面にあったが、季節や時事行事を保育に取り入れていることがくみ取れる。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。
(評価コメント)			
トラブル時は、年齢にあわせて気持ちを受けとめ、代弁し、危険のないように解決の糸口を見い出せるように見守っている。5歳児は、交替で毎朝登園人数を給食室に報告に行ったり、DJ放送で行事の時の様子や献立についてのお知らせを自分の言葉でみんなに伝えている。日々の生活のなかで異年齢交流が行われている。4・5歳児はホールで会食したり、5歳児は3歳未満児の午睡時にお手伝いに行くなど一緒に遊んだりしている。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント)			
特別な配慮を要するこどもには、個別指導計画を作成し、加配職員が配置されている。保護者とは、担任と特別支援コーディネーターの専門資格を有する副園長とが面談して養育方針や希望を聞いている。職員は、障害児研修受講や職員会議でこどもの様子を報告しグループ討議をして共通理解している。保育カウンセラーや発達センターの巡回が毎月あり指導・助言を受けている。			

評価項目		標準項目	
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント) 朝夕の引継ぎは、引継ぎノートと口頭で伝えるようにしている。伝え漏れの場合は電話で保護者に連絡している。サポーターと各学年職員との打ち合わせ、園長・副園長との全体会を月1回実施。研修は都度行い、こどもの接し方や怪我等の対応を共有している。こどもが安心して過ごせるように年齢ごとに部屋を分け、担当職員を固定している。玩具も延長保育用を用意し、日中の遊びと変化をつける等工夫している。18時45分以降はせんべい・麦茶の提供がある。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント) 送迎時の会話と連絡帳、懇談会・個人面談・保育参観・保育参加、園だより・給食だより・クラスだより・保健だよりで保護者と情報共有している。年齢ごとのドキュメンテーションを「はぐくみボード」と称した掲示板に掲示、保育室前のホワイトボードを活用し、こどもの育ちや保育内容の見える化を図っている。保護者からの相談はいつでも応じる体制を整えている。場合によっては、園長も交えて対応にあたり、全職員で共有し支援をしている。ドキュメンテーションや連絡帳をアプリで確認できると、より保育の様子がわかりやすいと思われる。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当図)
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 図)
(評価コメント) 近隣の小学校2年生の街探検、5年生と5歳児の交流、教師による体験授業、中学校の職場体験の受け入れのほか、今年度は敬老会のお祝いに参加しお祝いの言葉や歌を披露するなどして、地域社会との交流を図っている。近隣の保育園長と連携し「のびのび会」と称し、他園の5歳児が当園にきて交流したり、就学前に小学校についての講話と一緒に聞くなど当園の園長が中心となって民間保育園との橋渡しを務め情報交換や地域交流を深めている。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 登園時の視診や着替えの時に心身の状況を確認し、家庭での不適切な養育や虐待が疑われる場合は園長に報告している。要保護児童については、こども家庭支援センターなど関係機関と連携し経過観察を行い、月1回報告書を提出して継続的に支援している。職員の不適切な指導に関しては、園長が指導したり、公立7園共通の「虐待等と疑われる事案の防止に向けたガイドライン」を作成し職員に周知している。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 年2回内科・歯科健診、3～5歳児尿検査、毎月の身体測定、6カ月未満児は月1回の乳児健診を実施し、記録して保護者に伝えている。朝の受け入れ時は副園長、午睡明けは園長が保育室を巡回しこどもの健康観察を行っている。SIDSに関するマニュアルがあり、0歳児は5分、1・2歳児は10分、3～5歳児は30分間隔で呼吸と体位を確認し、6カ月未満児にはセンサーシートを設置し体動を確認している。保護者には、乳幼児突然死症候群対策強化月間のポスターを掲示し情報を提供している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) 感染症発生時における浦安市保育園業務継続計画が策定され、定期的に見直しをしている。体調不良時は、事務室に保健室が設置されベッドで休ませ、保護者に連絡し受診をお願いしている。感染症が発生した場合は事務室前の掲示とキッズビューのアプリで配信し保護者に知らせている。各クラスに救急箱が用意され、チェック表で不足しているものはないか点検している。			

評価項目		標準項目	
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント) 食育計画に沿って指導計画を作成し実施している。園庭で野菜や果実を栽培して観察したり、野菜洗いや皮むきを体験している。栄養士や給食員が保育室に出向き出前給食・クッキングや食に関する話をしたり、時節行事をとおして食への関心を高め楽しく食べることを大切に食育活動となっている。栄養士会議の開催や保護者アンケートの実施、人気レシピの配布なども行っている。アレルギー児に対しては、色別のトレーや食札・職員の声出しで確認し、別テーブルで誤食防止に努めている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) エアコン・扇風機・空気清浄機・加湿器を設置。適時換気を行い適切な状態を保持している。清掃は毎日行い、玩具を消毒、布製ものは定期的に洗濯し日光消毒をしている。うがい・手洗い指導は、わかりやすいイラストを掲示、ペーパータオルを使用して衛生管理に努めている。トイレ排泄時の保育室への臭気対策及び1・2歳児のおむつ替えのスペースの環境面の更なる配慮が望まれる。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 事故については、発生時の事故報告書やヒヤリハット報告書を作成し、原因と防止策を職員会議で共有している。AED研修も実施している。毎月、年齢別の「事故防止チェックリスト」に基づき点検・確認を行い改善している。園庭や遊具の安全点検や整備は定期的に行っている。門扉には防犯カメラを設置、電子施錠はインターホン確認後に開錠している。さすまた・防犯ブザーを設置、定期的な防犯訓練のほか、警察と5歳児を対象に「連れ去り教室」を実施するなどして不審者対策が図られている。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント) 市が保育園業務継続計画を策定、職員で読み合わせを行い共有している。月1回様々な時間帯で火災・地震・高潮避難訓練を実施している。年度初めに各クラスで役割分担を決めフローチャートを作成している。保護者とは、月1回災害伝言ダイヤルの訓練を実施、緊急時はキッズビューのアプリやメールで安否を配信する。年1回消防署立ち合いで訓練を実施、同時に消火器訓練も行っている。建物や設備の老朽化を踏まえ、点検箇所や修繕内容について保護者へこまめな情報共有が望まれる。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント) 園庭・ホール開放、電話相談、体験保育や一時預かり保育、保育ママとの連携による身体測定や行事交流など、地域に応じた子育て支援を行っている。広報活動は「MY浦安」のホームページを活用している。行事等の日時案内にとどまらず、職員のアイデアを生かして、遊具の紹介・保育内容・手作り玩具などを写真付きで発信したことで利用者の増加につながったと共に、地域に開かれた保育園になっている。			